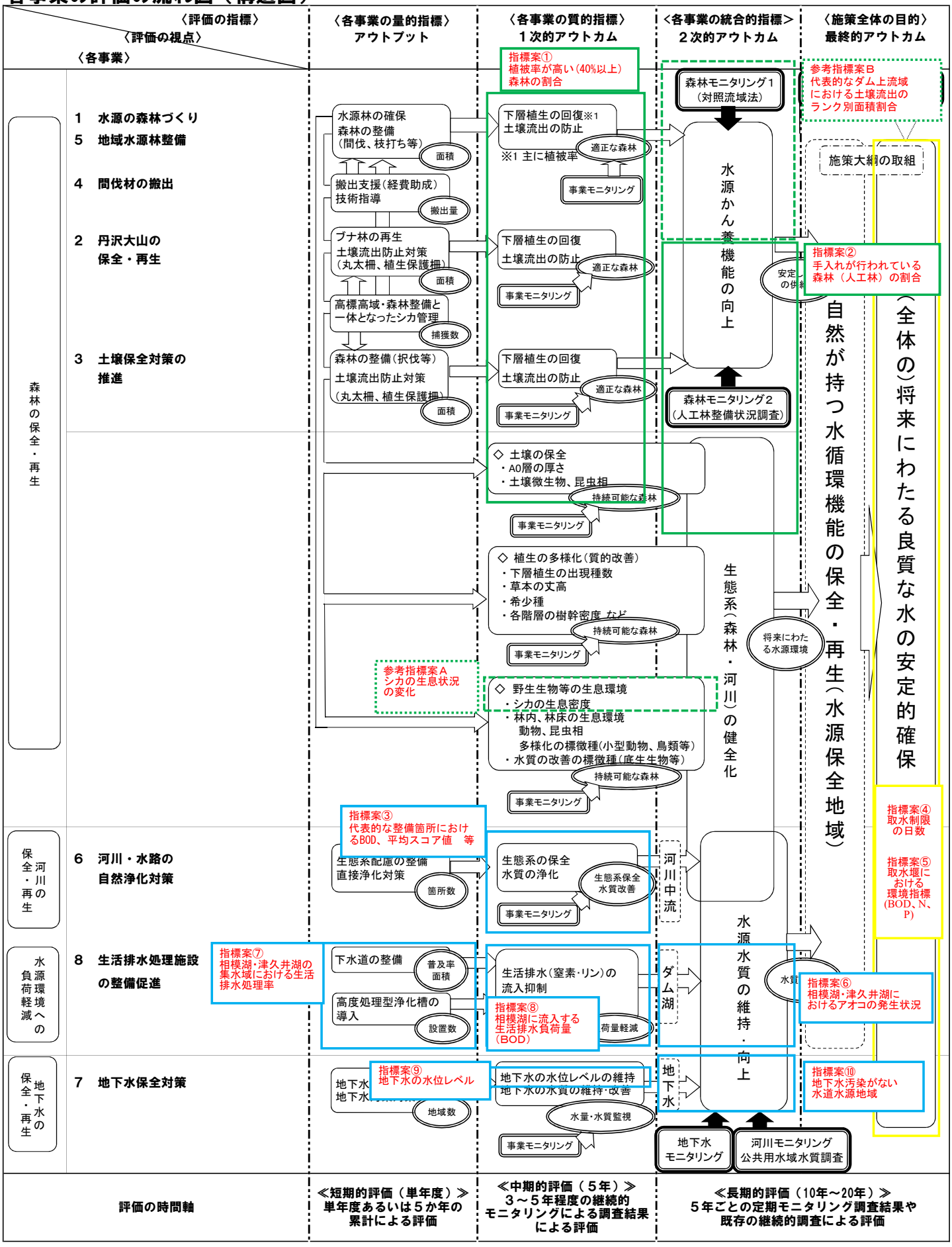
参考資料１

各事業の評価の流れ図（構造図）



森林の保全・再生の取組による事業効果

森林整備
（間伐、枝打ち）

土壌流出防止対策
（丸太柵等の設置）

植生保護柵の設置
シカの管理捕獲

林内に
日照が戻る

シカによる
採食圧の低減

指標案①
植被率が高い
森林の割合

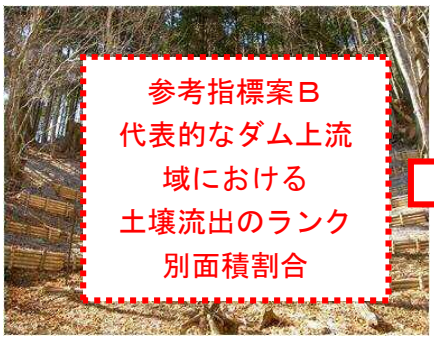
間伐などの森林整備から５年が経ち、
下草や低木が回復した様子。

下層植生の回復・
落葉の堆積の増加

降雨時の地表流の減少
（地中への浸透が増加）

土 壌 保 全

設置後 年目の植生保護柵内外の比較。
シカの が乏しくなる期間の採食圧を回
避でき 様子がうかがえる。



参考指標案Ｂ
代表的なダム上流
域における
土壌流出のランク
別面積割合

土壌流出防止対策実施後の様子。林地
崩壊の防止が図られ、やがて植生の回
復が期待できる。

水源涵養機能の
維持・向上及び
生態系の健全化

参考指標案Ａ
シカの生息状況の
変化

捕獲技術や野生生物の専門知識を持った
ワイルドライフ・レンジャーによる、
ニホンジカの管理捕獲。

指標案②
手入れが行われている森林（人工
林）の割合

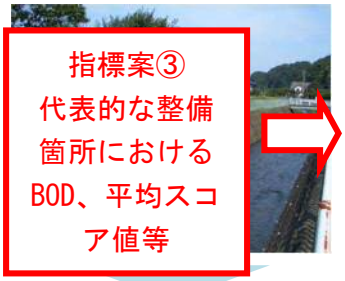
河川の保全・再生、水源環境への負荷軽減等の取組による事業効果

指標案⑦
相模湖・津久井湖の集水域における生活排水処理率

生態系に配慮した河川・水路等の整備

地下水のかん養対策・汚染対策

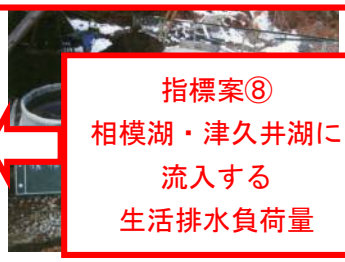
生活排水対策（下水道・合併処理浄化槽整備）



指標案③
代表的な整備箇所におけるBOD、平均スコア値等

多様な河川生態系の保全

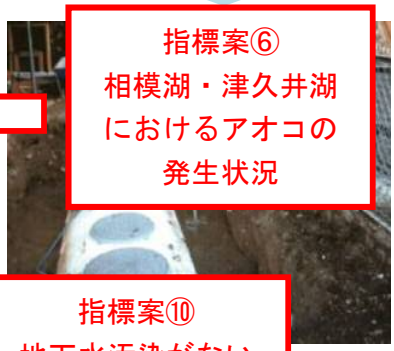
生活排水（窒素・リン）の流入抑制



指標案⑧
相模湖・津久井湖に流入する生活排水負荷量

自然浄化機能の回復

ダム湖のアオコ発生抑制



指標案⑥
相模湖・津久井湖におけるアオコの発生状況

指標案⑨
地下水の水位レベル

水位・水質の維持・改善

指標案⑩
地下水汚染がない水道水源地域

生態系に配慮した河川整備。瀬や淵ができたことで、自然浄化機能が向上し、生物の生育にも適した場所となった。

ンを除去
理浄化槽

水源水質の維持・向上及び生態系の健全化

休耕田や冬期水田を借上げ、水田に水を張った状態にすることで地下水へのかん養を図っている。

下水道整備の様子。管の埋設位置が深いため、地表を掘削せず地中を貫通する推進工法を採用。